



とねいこ

カ合小学校だより
令和元年5月28日
児童数：548名
文責：校長 乙丸孝嗣

運動会スローガン「令和最初の熱い戦い 全力を尽くす 力合魂」

いよいよ令和最初の運動会が、4日後となりました。これまで子ども達は暑い中、全力を尽くして練習に打ち込んできました。学年の練習はもとより、団としての練習も各団長を中心に力合魂を団員に注入しながら取り組んできました。ここで、令和最初の団長を意気込みを入れて紹介します。

赤
団



赤団団長の西田花です。私は赤団を引っ張って優勝に導きたいと思って団長になりました。みんなより大きな声を出すよう頑張ります

青
団



青団団長の津川優陽です。私はみんなと協力し合って練習できることが今1番楽しいです。絶対2連覇できるよう頑張ります。

白
団



白団団長の吉田翔空です。僕は白団を盛り上げたくて団長になりました。団員と練習方法などを話すことが楽しいです。優勝するぞ！

きいっと引き締まった団結式

21日（火）に、体育館で団結式を行いました。各団の応援団員が前に出て団長が決意を表明した後、応援演舞を披露しました。応援団員のやる気がひしひしと伝わる非常に引き締まった雰囲気の中、いよいよ熱い戦いが始まったという実感を全校児童が持った団結式となりました。



運動場でも聞こえるように歌の練習

14日（火）の音楽集会で、音楽専科の杉水先生の指導のもと、音程はもちろん声の大きさも、運動場でも響く声を出せるよう練習をしました。子ども達は1番の歌詞はあまり声が出ず、2番・3番と歌うにしたがって声が大きくなる傾向にあるので、それを是正する指導がありました。運動会当日は、団の応援歌・運動会の歌・校歌を歌いますが、1番の歌詞から大きな元気のいい歌声が聞こえてくると期待しています



ff

代表リレーの練習

各団から選抜されたリレー選手の練習は、給食準備時間を使って行っています。得点配分が大きいプログラムなので、優勝を左右するレースとなり盛り上がること間違いありません。楽しみに！



心配な天気



週間天気予報によると、今日現在で1日（土）の降水確率は40%です。微妙な予報です。しかし、まだ4日後の天気なので、きっと、これから降水確率が下がっていくと期待しているところです。昨年度は雨で順延しておりますので、今年度はすっきりと1日（土）に開催されるよう心から願っています。

かわいい1年生の入学を祝う会

4月26日、1年生の歓迎会を開きました。かわいい1年生が入場してくると大きな拍手で迎え入れました。1年生は満面の笑顔です。その笑顔が一層微笑んだのが「カ合レンジャー」の登場時です。噂に聞いてはいましたが格好よさと面白さを兼ね備えた高学年の子どもたちが扮するカ合レンジャーは大うけでした。役者ぞろいのカ合小ですね。



教育実習生

5月20日から4週間、西南学院大学から教育実習に本校卒業生の財津 冴（さえ）先生が来られました。財津先生は前半の2週間は2年1組に、後半の2週間は3年1組に入ります。この教育実習で、より一層教員になりたいという気持ちが高まってくれるように学校としても、しっかり支援していきたいと思います。8年前に卒業したカ合小を毎日懐かしみながら楽しく実習されています。



美化作業

25日（土）おやじの会の方々が音頭を取られ、運動会前の美化作業が実施されました。地域の有志の方々も参加され、危ない枝の伐採・草取り・駐輪場予定地の草刈りなど約2時間かけて整備していただきました。おかげで気持ちよく運動会を迎えることができます。心から感謝申し上げます。



地域の方のご協力に感謝します

正門を入れてすぐ右側の花壇は、カ合校区にお住いの田尻様が耕し肥料を加え畝を作り、苗を植える前の段階まで整備されました。おかげで、2年生の生活科の一環として、トマト・なす・きゅうり等の苗を植え育てることができています。

2年生は、登校したらすぐ花壇に行き、自分が植えた苗の成長を嬉しそうに確かめています。地域の方々のご協力に本当に感謝しております。



あさひのこどもたちとあそぶ

学校では、輪番で毎週火曜日、担当クラスが正門に立ち登校して来る友達に元気に挨拶をしています。挨拶をすることで爽やかな朝を過ごせるように、そして、コミュニケーション能力を高めるために挨拶運動を実施しています。それでは、家庭では何が必要でしょうか？これを問う時、男子中学生が4人、テレビに出演した番組を思い出します。司会者が4人に「朝、親におはようと言いますか。」と尋ねました。そしたら、2人は「言わない」。あと2人は「言う」でした。『言わない』理由は「小さい時から言っていないので、今さら恥ずかしいです。』『言う』理由は「小さい時から言っていたので、気が付いたら言うのが当たり前になっていました。」でした。習慣付けることの大切さを再認識する中学生の答えでした。もし、ご家庭で子どもから朝の挨拶がない時は、是非親から先に言ってみられてはどうでしょうか。挨拶はお説教では、なかなか身に付きません。親がお手本を示し続けることで、子どもは挨拶の習慣を身に付けていきます。私も毎日正門に立って子ども達に挨拶をしていますが、先に挨拶してくれる子どもは多くはありません。しかし、ずっと挨拶を続けていくことで、きっと多くの子ども達が先に挨拶するように成長してくれると信じています。

